

新型コロナ 群馬県が5類移行に向けた工程表発表 感染者の発表は5月8日から週1に  
2023/03/1 群馬テレビ



群馬県は、今月4日から当面の間、県独自のガイドラインに基づく警戒レベルを1に引き下げ5類移行に向けたロードマップを発表しました。

「全県において県のガイドラインに基づく警戒レベルを1に引き下げることといたしました。期間については3月4日土曜日から当面の間といたします」(群馬県・山本一太知事) 県は1日、新型コロナウイルス対策本部会議を開き、医療提供体制の状況が緩和されたことや救急搬送が困難な事例が少なくなってきたことなどから3月4日から警戒レベルを1に引き下げることを決めました。警戒レベルが1になるのは去年の11月11日以来、113日ぶりです。これにより、大人数や長時間での会食などは「慎重に判断」から「注意」に変更されました。なお、県はこれまで、警戒レベルの要請期間を2週間単位としてきましたが感染状況が落ち着いていることから今回から「当面の間」に切り替えました。

会見では、5月8日に新型コロナウイルスが2類相当から5類に移行することを受け、今月から5月7日までの県の対応を示したロードマップ・行程表が発表されました。マスクの着用については、国の方針に基づき、今月13日から個人の判断を尊重するとし、県立学校では、4月1日からマスクの着用を求めないことを基本とします。医療提供体制については、移行後のすべての医療機関での診療に向けてコロナに対応できる医療機関の拡充を図ります。

また、宿泊療養は、現在、8棟ある宿泊療養ホテルを4月には1棟に縮小し、5月に廃止、食料配送については、4月から廃止する方針です。警戒レベルの判断は廃止し感染者数の毎日の発表は5月8日から週1回の発表に変更されます。山本知事は「できる限り、混乱のないように医療現場などの状況も把握しながら運用していきたい」と話しました。

また、前橋市の日本語学校を運営する学校法人とウクライナ人学生との間で学費などをめぐってトラブルが起きていることについて山本知事は「状況の把握はこれからだが県としては今回の事態をかなり深刻にとらえている。調査をした上で県として対応が必要なことはしっかりと対応したい」とコメントしました。